

事例 14 職員考案のカードゲームを活用した森林環境教育 (東北森林管理局 三陸中部森林管理署)



- ・岩手県大船渡市 ^{おおふなと} 三陸中部森林管理署 ^{さんりくちゅうぶ}
- ・「ZORING」を活用した森林環境教育
(令和 6(2024)年 9 月)

- ・「ZORING」カード

三陸中部森林管理署では、森林と人々の生活や環境との関係について理解を深めるため、小・中学生等に対し森林教室を実施しています。従来の講義形式では、一方的な形になりやすいため、生徒が森林や林業の成り立ちを遊びながら学べるよう、森林整備をテーマとしたカードゲーム「ZORING」(ゾーリン)を開発しました。

「ZORING」は、相手からの病虫害カードなどの妨害に対して、薬カードなどで対策しながら、森林づくりを進める対戦型ゲームで、子供から大人まで手軽に森林づくりの知識・理解を深めることができます。

同署では、地域イベントへの出展、カードゲームの特設サイトの開設等を通して普及活動を行っており、複数の教育機関や民間企業等から問い合わせが寄せられるなど、教材としての活用が広がっています。実際に森林環境教育で「ZORING」を体験した方からは、「森林づくりの手順や定期的な手入れが必要なことがわかった」などの感想がありました。

同署では、引き続き「ZORING」の活用をはじめ、森林環境教育を通じて、森林づくりに対する理解醸成に取り組んでいきます。

東北森林管理局 ZORING 特設サイト

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sidou/fukyu/zoring.html>

